

『資本論を読む会』第11回(7月例会)への案内です！

【7月の「読む会」は】
2019年7月23日(火)午後6時から
会場:支局・社青同事務所

Marx Stop&Go

6月例会には、若手一人を含む5人で読み合わせと討論を
やりました。「第3章・第2節 流通手段 a商品の変態」を
Kaiさんからのレポートでした。

参院選挙の最中ですが、格差是正・貧困撲滅・福祉拡大の
ためには「お金が足りなければ国債発行しても全然問題ない」
というMMT理論が話題になりました。マルクスらの労働価
値説、商品貨幣論批判の上に成り立つ独特の議論のようです。

次回「第2節 流通手段」の「b貨幣の流通」
レポートは引き続きKaiさんです。

初めての方も歓迎。『資本論第一分冊』(国民文庫)は、社
青同にも何冊か在庫があります。

また、これまでの資料は下記ホームページでご覧になれます。

◎ <http://socialistho.cafe.coocan.jp/>「資本論を読む会」コーナーにあります。



レポートから

◎商品の変態(メタモルフォーゼ)

◆商品の命がけの飛躍

- ・最初の商品変態の終点は2番目の商品変態の出発となる。
- ・このように貨幣を介し次々と変態系列の連鎖が広がっていく。
- ・この連鎖全体を「商品流通」という。
- ・そしてこの売り買いにおいては、つくりすぎや売れ残りから恐慌が発生する可能性もあると、マルクスは指摘した。

◆ $W-G-W$ という商品の循環が貨幣にあたえる運動は、その出発点から絶えずはなれてゆく運動、すなわち、貨幣の流通である。

・ W (ベー) とは Ware (ヴァーレ) = 商品のこと。 G (ゲー) とは Geld (ゲルト) = 貨幣のこと。

・ $W-G-W$ は、ベーゲーベーと読みます。

・ $W-G-W$ とは、商品をつくりそれを売って、お金を手に入れ、そのお金でまた別の商品を買うという意味をあらわす。

◆ 『ある物体が
不断に他の物体
に落下しながら、
同じく不断に
これから飛び
去る。』

・「楢田は、その
中で、この矛盾が
解決され、また、
実現されている
運動形態である。」

(from Kai)

